

第1章 感染症の基礎知識



Q・乳幼児がかかりやすい病気は、なんですか？

A・最も多いのは、感染症です。感染症には、風邪などの身近なものから、命にかかわるようなものまで、いろいろあります。

1. 感染と発病について

Q 感染とは？

A・病原体（細菌やウイルスなど）が体の中に入り込むこと。そのまま病原体が消えていく事もあれば、人の体に影響を与えることなく共存し続ける場合もあります。
*病原体は、空気感染・飛沫感染・接触感染等のルートで、感染します。

Q 発病ってなに？

A・体の中に病原体（細菌やウイルスなど）の数が増え、臓器や組織を破壊し、体に異常(症状)が生じ、病気になること。

2. 病原体について

Q・病原体ってな～に？



A・①**細菌**→栄養素があれば、自分でふえることができるもの。
②**ウイルス**→他の生物の細胞の中に入り込まなければ増えることはできないもの。

風邪の原因の80%～90%はウイルスが原因だよ！



***細菌**には「抗生剤」という特効薬があります。
***ウイルス**の場合、インフルエンザや水痘（水ぼうそう）など一部のウイルスは「抗ウイルス剤」がありますが、ほとんどのウイルスには特効薬はありません

細菌性疾患

サルモネラ菌などによる食中毒・腸管出血性大腸菌感染症(O157・O26)・溶連菌感染症・百日咳・とびひ・結核

ウイルス性疾患

麻疹(はしか)・水痘(水ぼうそう)・風しん(三日はしか)・流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)・手足口病・インフルエンザ・咽頭結膜熱(プール熱)・ウイルス性肝炎(A型・B型・C型等)・突発性発しん・伝染性紅斑(りんご病)・感染性胃腸炎(ウイルス性胃腸炎)・RSウイルス感染症

3. 潜伏期間と伝染する期間

潜伏期間とは、病原体に感染してから体に病状が出るまでの期間をいい、個々の病原体の種類によって異なります。伝染期間もまた病気により異なり、潜伏期間と重なることもあります。

4. 免疫について



Q・免疫ってな～に？

A・①細菌やウイルスが体の中に侵入してきた時、それを排除して体を病気から守ろうとする働きのこと。
②体に抵抗力がつくこと。

そうか～



《予防接種》 人工的に免疫をつけること。

5. ペットの感染症

子供達は生きものとの触れ合いを通して様々なことを学びます。保育園や家庭で小動物を飼育している場合や触れ合う場合には、ペットとの接触により人に感染する病気もありますので、注意しましょう！



ペットによる感染症にはこのようなものがあります。



犬や猫の回虫に注意！

犬や猫には回虫という寄生虫がいることが少なくありません。犬や猫が糞をした砂場で砂場遊びをした子供が感染したり、犬猫に直接接触することで感染します。

☆回虫症・・・症状：発熱、視力低下、脳炎など。

砂場遊びの後はしっかり手を洗いましょう！

カメのサルモネラに注意！

サルモネラ菌は犬や猫、カメ、鳥類の腸の常在菌です。特にカメにはサルモネラ菌が多数ついているので注意しましょう。

☆サルモネラ・・・症状：腹痛、下痢、嘔吐、発熱などの食中毒症状。

触ったあとはしっかり手洗いしよう！
口や鼻から感染するよ



うさぎ、鳥、ハムスターなど・・・

・うさぎ：ツメダニ症、皮膚糸状菌症など。

(犬、猫、ハムスターも)

☆皮膚糸状菌症・・・症状：円形発赤、水ぶくれ。

こんな症状が出たらペットの可能性も考えよう



・鳥：鳥に噛まれたり、口移しでえさをやることで感染します。

☆オウム病・・・症状：全身倦怠感、頭痛、発熱、咳など。



・ハムスター：ねずみと同様のげっ歯類で、のみやしらみに注意。皮膚糸状菌症も。

☆ペットと触れ合った後は・・・☆

- ① ペットの糞便の処理、清掃をしましょう。
- ② ペットと触れ合ったら、手を洗いましょう。
- ③ 子供達にもペットから移る病気があることを説明し理解させましょう。
- ④ 口移しでえさを与えるなど、密着しすぎないように注意しましょう。

他にも動物はいろんな感染症をもっています。注意すべき点を習慣づけて楽しく動物と付き合いましょう



6. 感染症を防ぐためにどうすればよいか

感染症対策の基本

①・感染源への対応(隔離・消毒等)

感染源

②・抵抗力の強化(予防接種等)

人間

③・感染経路の遮断

感染経路



Q・感染源ってなに？

感染源として取り扱うもの

第3章の2.感染経路を参照してね！

A・感染症の原因となる微生物を含んでいるもの

*排泄物(嘔吐・便・尿など)
*血液・体液・分泌物(膿)

*これらに触れた手指で取り扱った食品など



感染源となるものには、素手で触らず、必ず手袋を着用してね。そして、手袋を外したら、また手を洗って、手指消毒を忘れないでね！

抵抗力の強化

予防接種

睡眠

休養

栄養



予防接種は、命に危険を及ぼすような、重症になりやすい感染症予防には、とっても有効だよ！できるだけ、予防接種を受けようね！

日頃から、睡眠を十分に取り、運動をしたり、薄着を心がけるなど健康管理を行うことで、抵抗力を強化できるよ！

感染経路の遮断

- 1・感染源を持ち込まないこと
- 2・感染源を拡げないこと
- 3・感染源を持ちださないこと

《保育園》

拡げない

園児

職員

- ・日常の健康管理
- ・有症状時の早期発見・受診
- ・スタンダード・プレコーション(標準予防策)注・参照



職員

保育士・調理員・看護師

持ち出さない

園児

園児・一時保育児など

持ち込まない

保護者

・ボランティア
・実習生など

注)・スタンダード・プレコーション(標準予防策)とは？

「血液・体液・分泌物・排泄物・創傷皮膚・粘膜などは、感染する危険性があるものとして、取り扱わなければならない。」



口から病原体が侵入する経口感染症は、飲食物の衛生管理や手洗いの励行など衛生習慣を身につけることで、予防できるよ！また、人が多く集まる場所に行かないこと、マスクを使用することで、ある程度だったら、予防できるよ！やってみてね！